令和５年度　需要に応じた生産に向けた情報提供・交換会開催要領

１　目的

国民１人当たりの消費量・人口減少の影響により、国全体の主食用米需要量が今後も減少する見込みである。また、資材不足や、原材料・原油価格の高騰による肥料等各種生産資材の価格上昇、日米の金利差による円安、深刻化するウクライナ情勢がより拍車をかけているなどの社会情勢により、県内農業者、実需者の生産活動に重大な影響が出始めており、これまで以上に、各産地や生産者の経営・販売戦略に基づく需要に応じた生産が求められている。

このような中、産地・生産者が需要に応じた水田活用を長期的な視点から検討するための参考となるよう、これまでの情報提供に加えて、生産者・実需者・地域協議会構成員等が多様な立場からの情報共有を行える場を設ける。

２　手法等

（１）形式：Webexによるリモート会議

（２）主催：兵庫県農業活性化協議会

（３）参集範囲：生産者（兵庫県稲作経営者会議・兵庫県農業法人協会・兵庫県集落営農ネットワーク協議会等）、各地域協議会(市町・ＪＡ等)　、本庁関係課、農林事務所、普及センター、県協議会事務局等

（４）その他：回線の都合により、先着200回線までとさせていただきます。

３　概要

（１）日　時：２月22日(木)　14:00～15:30（開始30分前から入室可。）

（２）内　容

ア 水田活用の直接支払交付金について（兵庫県拠点）：10分程度

イ 土地利用型農業担い手の育成・確保について（県農業経営課）：５分程度

ウ 実需者からの情報提供※：60分程度

(ｱ) 米粉用米について（30分）

ＪＡ全農西日本米穀販売事業所　鈴木　隆太郞　氏

(ｲ) Ｊクレジットについて（30分）

株式会社フェイガー　農業事業責任者　後藤　明生　氏

エ 質疑応答15分